

# 平成31年第1回市議会定例会代表質問一覧表

1 日 時 平成31年3月12日(火) 午前9時30分

2 質問者 (質問順)

- |               |     |         |
|---------------|-----|---------|
| (1) 新緑水クラブ    | 30分 | (田中雅章)  |
| (2) 市友会       | 30分 | (川崎一)   |
| (3) 公明党       | 30分 | (石丸喜久雄) |
| (4) 日本共産党議員団  | 30分 | (坂ゆかり)  |
| (5) 子どもたちに青い空 | 30分 | (村瀬晃代)  |

3 質問事項、要旨及び項目

質 問 者	1 田 中 雅 章 議 員 (新緑水クラブ)		
質 問 事 項	質 問 要 旨	質 問 項 目	備 考
1 市政運営の基本姿勢について	1 市制施行50周年を次の50年先を展望したまちづくりの新たなスタートの一年として位置づけ、将来にわたり元気なまちであり続けられるよう、「まちづくりの礎」をより強固なものへと築き上げていくとのことであるが、まちづくりの方向性及び事業展開等について問う	(1) 市制施行50周年を迎えるにあたり、これまでの本市のまちづくりの成果をどのように評価・分析しているか (2) 次の50年先を展望したまちづくりの方向性をどのように考えているか (3) まちづくりの方向性に基づき、新たなスタートの一年としての事業展開をどのように考えているか	
	2 税制改正の影響が懸念される市税収入額及び今後の市債残高の見込額等について問う	(1) 2019年度当初予算における市税収入は、平成30年度と比較して減少しているが、主な減少理由はどのようなものであるか。また、将来的な見込みはどのようなものであるか (2) 今後の市債残高の見込額はどのようなものであるか (3) 市税収入の減少と市債残高の増加は、次の50年先を展望したまちづくりにおいて、どのような影響があるか	
2 産業振興とにぎわいづくりの推進について	1 平成30年度は、工場夜景を活用したナイトクルーズの実施等、本市ならではの「観光都市」を目指したまちづくりの第一歩を踏み出した年であったと評価している中、2019年度の観光振興策について問う	(1) 観光施策を戦略的に推進するための指針となる観光ビジョンの策定の理由及び概要はどのようなものであるか (2) 観光クルーズ事業の観光資源化に向けた社会実験の内容はどのようなものであるか。また、観光振興に向けて、民間企業等との連携をどのように考えているか (3) 大池公園の「春の桜」等を本市出身のイルミネーションデザイナーの監修により、ブラッシュ・アップする予定とのことだが、平成30年度のひかりの観光資源創出調査の結果と2019年度の具体的な計画はどのようなものであるか (4) 本市の観光資源の1つである大池公園の桜の長寿命化や更新計画の検討を行うにあたっての基本的な考え方及び調査内容はどのようなものであるか	

3 リニアインパクトの活用について	1 リニア中央新幹線の開業に伴う、本市のまちづくりへの影響と好機を捉えたハード整備の基本的な考え方について問う	(1) 本市のまちづくりへの影響をどのように考えているか (2) 好機を捉えたハード整備の基本的な考え方はどのようなものであるか	
	2 都市機能の更なる充実を図るための面的整備について問う	(1) 太田川駅西地区における土地区画整理事業の基本的な考え方及び整備計画はどのようなものであるか。また、組合、業務代行予定者及び行政の3者が連携を図りながら事業を進める上での課題はどのようなものであるか (2) 名和駅西地区における土地区画整理事業の実施に向けた課題及び支援策をどのように考えているか。また、本地区の整備によるメリットをどのように考えているか (3) 新駅整備の進捗状況及び課題はどのようなものであるか。また、西知多総合病院の病院経営へのメリットを市としてどのように見込んでいるか (4) 加木屋中部地区における土地区画整理事業の基本的な考え方及び整備計画はどのようなものであるか。また、本地区の整備によるメリットをどのように考えているか	
4 安心・安全なまちづくりについて	1 災害に強いまちづくりと減災対策を進めるにあたっての基本的な考え方及び今後のインフラの主な整備計画について問う	(1) 災害に強いまちづくりと減災対策を進めるにあたっての基本的な考え方はどのようなものであるか (2) 今後のインフラの主な整備計画はどのようなものであるか	
	2 都市公園が担うまちの防災機能の現状及び今後の防災機能の強化に向けたあり方等について問う	(1) 都市公園が担っているまちの防災機能の現状はどのようなものであるか (2) 今後、都市公園の防災機能の強化のあり方及び現在整備中の都市公園の防災・減災機能をどのように考えているか	

質 問 者	2 川 崎 一 議 員 (市友会)		
質 問 事 項	質 問 要 旨	質 問 項 目	備 考
1 市制施行50周年 記念事業について	1 市制施行50周年記念式典及び 記念事業オープニングイベントに ついて問う	(1) 市内企業の技術を結集して製作しているオリジナルカートの進 捗状況及び完成披露後の活用方法はどのようであるか (2) 市内企業を顕彰するに至った経緯、目的及び顕彰基準はどのよ うであるか	
	2 市制施行50周年記念事業にお ける姉妹都市との交流事業の内容 及び今後の方向性について問う	(1) 国内外の各姉妹都市との交流事業の具体的な内容は、それぞれ どのようであるか (2) 姉妹都市との今後の交流事業の方向性はどのようであるか	
2 健康づくり・いき がづくりについて	1 これからの人口減少社会を見据 えた50年先の時代にふさわしい 公共施設整備の考え方等について 問う	(1) 平成30年度に公共施設マネジメント室が設置されたが、公共 施設の管理に関する計画や指針等の策定状況及び今後の方向性は どのようであるか (2) 文化センターについて、ホール機能の再整備を含めたリニュー アル及び耐震改修が計画されているが、その整備手法はどのよう であるか (3) 知多市と共同で設置を進めている健康増進施設について、整備 スケジュール、施設内容の検討状況はどのようであるか (4) 荒尾町に誘致した健康増進施設について、整備スケジュール及 び施設の概要を市としてどのように把握しているか。また、本施 設が市民にもたらすメリットはどのようであるか	
3 子育てしやすい環 境の充実について	1 子ども・子育て支援事業計画の 見直し等について問う	(1) 本市における子育て環境の課題はどのようであるか。また、現 在と事業計画策定時を比較し、課題はどのように変化しているか (2) 現在の事業計画の目標及び成果指標の動向はどのようであるか (3) 子育て世帯を対象としたニーズ調査の結果を踏まえて事業計画 を見直すとのことだが、スケジュール及び方向性はどのようであ るか	

	2 保育ニーズの増加を踏まえた保育環境の更なる充実及び妊娠時や出産後の母親への支援策について問う	<p>(1) 民間保育施設整備への補助を実施しているが、その内容及び事業効果はどのようなものであるか。また、民間による運営メリットはどのようなものであるか</p> <p>(2) 母子健康手帳の交付時に専門員等が面談することによるメリット及びデメリットはどのようなものであるか</p> <p>(3) 引き続き、産前産後の支援に重点的に取り組むとのことだが、これまでの取組における課題と今後の方向性はどのようなものであるか</p>	
4 夢と希望を育む環境づくりについて	1 スポーツ施設の整備を含めたスポーツ施策の推進について問う	<p>(1) 加木屋球場や上野台公園の多目的広場の再整備の概要及びスケジュールはどのようなものであるか</p> <p>(2) 全国レベルの選手を育成するためには、一流選手による継続的な指導の機会を小中学生等に提供することが必要と考えるが、具体的な取組を検討する考えはあるか</p>	
	2 全国的に、全児童生徒数に占める不登校の児童生徒の割合が増加していることを踏まえ、本市の不登校対策について問う	<p>(1) 本市の現状や要因の分析結果はどのようなものであるか</p> <p>(2) 課題解決に向けたこれまでの取組状況及び今後の具体的な取組計画はどのようなものであるか</p> <p>(3) 課題解決に向け、市内大学との連携や協力を検討する考えはあるか</p>	
	3 平成30年度に試験的に実施した民間プールを活用した水泳の授業の今後の基本的な考え方等について問う	<p>(1) 検証結果はどのようなものであるか</p> <p>(2) 児童の泳力向上や教師への負担等を含め、どのような課題があったか</p> <p>(3) 検証結果や課題を踏まえ、2019年度の事業展開及び効果の検証方法をどのように考えているか。また、今後の基本的な考え方はどのようなものであるか</p>	

質 問 者	3 石 丸 喜久雄 議 員 (公明党)		
質 問 事 項	質 問 要 旨	質 問 項 目	備 考
1 市政運営の基本姿勢と経営方針について	1 市制50周年の節目の年を新たなスタートの1年と位置づけ、これからの50年先を展望し、将来にわたり元気なまちであり続けられるよう、取り組んでいく重点政策と新たな取組及び財政運営について問う	(1) これからの50年先を展望し、重点を置いて取り組んでいく政策は何か。また、この50周年を契機としてスタートする取組は何か (2) 2019年度及びその後の市税収入、経常収支比率及び市債残高の推移をどのように見込んでいるか	
2 市制施行50周年記念事業について	1 市制50周年という記念すべき1年を、次の50年に向けて、本市の更なる飛躍を図る第一歩としたいとしているが、記念式典で市内企業を顕彰する意義と今後の連携のあり方及び新たなふるさと大使の就任について問う	(1) 記念式典で、これまで市政発展を支えていただいた市内企業を新たに顕彰する意義はどのようなものであるか。また、今後の連携のあり方についてどのように考えているか (2) 新たなふるさと大使の就任とは、どのような方や団体に委嘱する考えか	
3 産業振興とにぎわいづくりの推進について	1 本市では、インバウンド戦略での優位性や地域産業の一層の振興を図るため、観光客の受け皿となるホテル誘致を積極的に進めている。ホテル誘致の取組の成果及び今後の考えについて問う	(1) 日本を訪れる外国人観光客が6年連続で過去最高を更新する中、本市における外国人宿泊者数の推移及び市内ホテルの客室稼働率はどのようなであると把握しているか (2) 2020年夏に、ホテル誘致条例に基づく2つ目のホテルが開業すると市内での宿泊可能人数は何人になるか。また、その後のホテル誘致の目標及び見通しはどうか	
	2 本市の中部圏最大の鉄鋼基地をはじめとした工場地帯の夜景等を活用した観光クルーズ事業等の産業観光の取組について問う	(1) 2018年から実施している市民向けナイトクルーズ体験会や旅行者を対象にしたクルーズ船運航での参加者の意見・感想はどのようなであったか (2) 本市の工場夜景を活用した観光クルーズ事業を成功させるには、臨海部企業の協力も不可欠と考えるが、そうした協議は進められているのか	

4 リニアインパクトによるまちづくりについて	1 2027年のリニア中央新幹線の開業を好機と捉え、西知多道路整備事業をはじめとした都市機能を高める様々な取組を進めているが、それぞれの事業の計画について問う	(1) 太田川駅西地区をはじめとした土地区画整理事業や養父森岡線及び新駅周辺等整備事業について、それぞれ事業完了はいつごろを予定しているか (2) 西知多道路の整備計画では、加家インター及び横須賀インターの出口付近における渋滞の緩和策はどのようなになっているか	
5 安心・安全なまちづくりについて	1 災害に強いまちづくりと減災対策を強化し、大規模災害から市民の生命と財産を守るため、2019年度から実施する補助事業の取組及び伊勢湾台風を題材にした演劇の上演について問う	(1) 大阪府北部地震によるブロック塀の倒壊被害を受け、2018年10月1日から実施しているブロック塀等撤去費補助事業の取組と申請状況はどのようなであるか。また、更なる事業を促進する取組はどのようなであるか (2) 住宅除却補助事業及び防災ベッド貸出事業の内容と事業を促進する取組はどのようなであるか (3) 名和小学校体育館で実施を予定している伊勢湾台風60年演劇上演の事業内容はどのようなであるか	
6 高齢者の健康・いきがづくりについて	1 本市では、現在、国立長寿医療研究センターと共同して、高齢者の身体機能の維持・改善に向けた効果検証を実施しているが、「脳とからだの健康チェック」の調査結果からわかったことを基に取り組んでいく介護予防事業及び認知症の方やその家族への支援策について問う	(1) 2017年9月から2018年6月まで国立長寿医療研究センターと共同で実施した「脳とからだの健康チェック」の調査結果はどのようなであったか (2) 「脳とからだの健康チェック」の調査結果から、身体機能等の維持・改善と認知機能の向上を組み合わせた介護予防事業を更に充実させていくとしているが、具体的な事業内容はどのようなであるか (3) 認知症に対する事業の拡充が図られているが、認知症の方が事故を起こした場合の救済について、どのように考えているか	
7 子育てしやすい環境の充実について	1 女性の活躍推進と働き方の多様化が進んでいる中、妊娠時や出産後の母親をとりまく環境が大きく変化してきているが、すべての妊産婦が安心して出産・子育てができる環境を整える取組について問う	(1) 市内で出産できる施設がない状態が長年続いているが、今後の見通しを把握しているか (2) 産前産後サポート事業及び産後ケア事業の利用実績及び効果はどのようなであるか (3) 2019年4月に向けた保育所等の受け皿の状況及び待機児童数の見込みはどのようなであるか。また、2019年10月から予定されている幼児教育・保育の無償化の実施で、入所者数にどのような影響があると考えられるか	

質 問 者	4 坂 ゆかり 議 員 (日本共産党議員団)		
質 問 事 項	質 問 要 旨	質 問 項 目	備 考
1 市政運営の基本姿勢について	1 市制施行から50年となる本市の現状と今後の課題について問う	(1) 農業や工業、商業がバランスのとれた発展を遂げたと述べているが、それぞれの成果及び課題についてどのように考えているか (2) 「まちづくりの礎」をより強固なものへと、さらに築き上げるとしているが、「まちづくりの礎」をどのようなものと捉え、今後どのように築き上げようと考えているか	
2 市制施行50周年記念事業について	1 5月18日、19日のオープニングイベントを皮切りに開催される、様々な市制施行50周年記念事業について問う	(1) 「東海市らしさ」にあふれたオープニングイベントを行うとしているが、この中で述べられている「東海市らしさ」とは何か (2) 市制施行50周年を契機として、次の世代に継承していくため、本市の歴史的な文物を市民が身近にわかりやすく学べる場所をつくる考えはあるか	
3 産業振興とにぎわいづくりの推進について	1 ホテル誘致条例及び木田北部地区のほ場整備について問う	(1) ホテル誘致条例に基づいて誘致されたホテルが開業しているが、ホテルによるにぎわいづくりへの効果をどのように評価しているか (2) 木田北部地区のほ場整備が進められているが、全国的に農業従事者が高齢化し、後継者が少なくなっている現状にある。農地として長期間有効利用されるために、市としてどのような方策を考えているか	
4 リニアインパクトによるまちづくりについて	1 リニアインパクトを活かしたまちづくりについて問う	(1) 西知多道路をはじめとした都市機能の強化は、リニア中央新幹線の開業効果をより享受できるとしているが、開業によるメリット及びデメリットをどのように考えているか (2) 加木屋中部地区に地域住民の暮らしを支える生活サービス施設等の立地誘導を図るとしているが、具体的にはどのような施設等を考えているか	



5 安心・安全なまちづくりについて	1 本市における災害対策の一環として、新たに実施する高齢者に対する防災ベッドの無償貸し出しサービスについて問う	(1) 防災ベッドの無償貸し出しサービスを実施するに至った経緯はどのようなものであるか。また、どのような効果を期待しているか	
	2 全国的に高い水準で推移している自転車が関係した事故の防止策について問う	(1) 自転車に乗車する際、ヘルメットを着用することは事故から身を守るのに有効な手段であるものの、車と歩行者と自転車がそれぞれ安全に通行できる道路の計画的な整備が安心・安全なまちづくりの基礎となると考えるが、そのような道路を拡充する考えはあるか	
6 高齢者の健康・いきがいつくりについて	1 国民健康保険加入者のうち、40歳代の方の特定健康診査の受診率向上は、早期の保健指導・治療につながり、結果として糖尿病等の発症・重症化の予防につながるとしているが、そのための方策について問う	(1) 国民健康保険加入者のうち、40歳代の方の特定健康診査の受診率の向上を図るため、インセンティブを付与するとしているが、どのような内容か (2) 早期の保健指導・治療により、糖尿病等の発症・重症化の予防につなげていくためにも、40歳未満の住民健診を実施すべきと考えるがどうか	
	2 市内のほとんどの公共施設は、部屋をとるのが困難なほどよく利用されており、高齢者が身近で利用できる公共施設の整備は益々重要になってきていると考えるが、市民の生涯学習活動に深く根ざしている文化センターをはじめとした公共施設の機能充実について問う	(1) 今後の人口減少社会を見据えて、50年先の時代にあったふさわしい公共施設のあり方を検討しているとあるが、具体的な計画はどのようなか (2) 文化センターのホール機能の再整備を含めたりリニューアル及び耐震改修を行うとしているが、どのような計画か	
7 子育てしやすい環境の充実について	1 次世代を担う子どもたちの健やかな成長と、安心して妊娠・出産、子育てできる環境整備について問う	(1) 安心して妊娠、出産、子育てできる環境を整える条件として産科が市内に一つもない現状に対してどのような対策を考えているか (2) 国が進める幼児教育・保育の無償化の実施により保育ニーズの増加が見込まれるが、どのように分析しているか。また、公立保育園の施設改修等により施設の拡充を図る考えはあるか	

<p>8 子どもが夢と希望を育む環境づくりについて</p>	<p>1 未来を担う子どもたちが夢や希望を育んで成長し続けていくことができる環境づくりについて問う</p>	<p>(1) 小中学校で過ごす時間は、将来の自立に向けた大切な時間であるとしているが、未来を担う子どもたちが多くの時間を過ごす学校を、行くのが楽しくなるような施設とするため、建替えを含めた抜本的な施設改修を行う考えはあるか</p> <p>(2) 不登校問題に関連して、新たに委嘱を予定している「まちづくりアドバイザー」にどのような活動を期待し、選出方法はどのように考えているか</p> <p>(3) 平成30年に民間プールを活用した水泳の授業が試験的に実施されたが、担任教師と専門インストラクターとの指導の連携における課題と対策はどのようなか</p> <p>(4) 民間プールを活用した水泳の授業が近隣の自治体でも行われていると聞いているが、今後、専門インストラクターの確保についてはどのように考えているか</p>	
-------------------------------	---	---	--

質 問 者	5 村 瀬 晃 代 議 員 (子どもたちに青い空)		
質 問 事 項	質 問 要 旨	質 問 項 目	備 考
1 市政運営の基本姿勢について	1 まちづくりの礎をより強固なものへと築き上げ、また、今まで築き上げてきた「礎」をさらにブラッシュアップすることで、未来を担う子どもたちが夢と希望を育み、若い世代が安心して子育てができ、お年寄りの皆様が健康で生きがいを持って過ごせるまちづくりを進めていくため、将来を見据えたまちづくりの基礎をしっかりと固めて、次の世代に継承できるよう必要な取組を充実させることであるが、本市の財政状況及び取組について問う	(1) 市債の現状及び今後の見通しはいかに (2) 市制50周年を記念して実施する事業による財政負担の影響をどう考えているか (3) 「礎」をさらにブラッシュアップして充実させるための福祉・教育分野の主な取組はどのようなものか	
	2 半世紀に積み重ねられたものをまちの財産として、しっかりと次の世代に継承とあるが、市の考えについて問う	(1) 市民の目に触れる機会が少ない歴史もまちの財産として、次世代に継承していく考えはいかに (2) まちの財産である収蔵品を活かすため、展示を行う郷土資料館の拡充を図る考えはいかに	
2 産業振興とにぎわいづくりの推進について	1 インバウンド戦略での優位性や地域産業の一層の振興を図るための考え及び内容について問う	(1) 「観光ビジョン」とはどのようなものか。また、どのような方法で策定を進める予定か (2) 旧東海市民病院跡地に誘致した2つ目のホテルが本市にもたらす費用対効果をどのように分析しているか (3) 農業や工業、商業がバランスのとれた発展を遂げ、中部圏最大の鉄鋼基地を持つ本市の課題は何か	
3 安心・安全なまちづくりについて	1 災害に強いまちづくりと減災対策の取組について問う	(1) 公共施設において、地震発生等の有事の際に利用者の安全を確保するための備えは十分であるか (2) 公共施設の耐震化率はどのようなようであるか。また、耐震化への今後の取組はどのようなか	

4 子育てしやすい環境の充実について	1 保育ニーズの多様化などに対応するための考え及び取組について問う	(1) 平成31年度に新たに民間事業者によって整備される認可保育施設の受け皿はどのようなか (2) 民間事業者の保育施設において安心・安全に配慮した保育がなされているか把握しているか	
5 夢と希望を育む環境づくりについて	1 未来を担う子どもたちが夢や希望を育んで成長し続けるための取組について問う	(1) 子どもたちの将来の自立に向け、どのような取組を行っているか (2) 不登校の児童生徒の減少に効果のある少人数学級の拡大を図る考えはいかにか (3) 不登校対策として、まちづくりアドバイザーの選出基準はどのようなか。また、どのような助言や支援を受けようと考えているか (4) 総合教育会議において、どのような不登校対策を協議する必要があると捉えているか	